# 令和４年度 第４６回 全国高等学校ハンドボール選抜大会（三重・岐阜男女別開催）

**競 技 上 の 注 意**

（公財）全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部

１　競技規則

　　本大会は、２０２２年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則ならびに（公財）全国高体連ハンドボール専門部内規及び申し合わせにより実施する（パッシブプレーの予告合図後のパスは４回までとし、スローオフエリアを使用する）。

２　競技時間

1. ３０分（前半）－１０分－３０分（後半）とする。

　　②延長戦は、準決勝戦までは第一延長を行う。それでも勝敗が決しない場合は、７ｍスローコンテスト(5人制)で勝敗を決する。決勝戦は、第二延長まで行い、それでも勝敗が決しない場合は、７ｍスローコンテスト(5人制)で勝敗を決する。

1. 加算式の電光表示時計を使用する。
2. 競技終了・チームタイムアウトの合図は、ホーン（ブザー）で行う。

⑤　退場時間は、退場者電光表示板で表示する。入場はチームの責任によって行う。

３　**新型コロナウイルス感染症拡大防止対策と対応**

　　①本大会の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン（以下「大会ガイドライン」という）に従って行動をすること。

②**各校でコロナ対策責任者（教員）を設け、対応等できるようにすること。責任者はチームの体調を毎日確認するとともに、各会場で入場の際「チーム体調チェックシート【様式１－１】を入館時受付に毎回提出すること。**

③受付確認後、ＩＤカード所持者及び関係者のみが入館できるものとする。

④会場における時間等について

・入館時間を試合２時間前とする。（ただし、第１試合については８時００分とする。）

・退館時間は試合終了後４０分以内を目安に退館すること。ただし、必要があれば撮影者として２名までは残ることを可とする。

・延長等があった場合は放送等で開始時間を指示する。

・コート使用のアップは、ハーフタイム時及び試合前の時間とする。

⑤大会に参加するすべての者はマスクを着用すること。ただし、アップ中や競技中の選手および

交代が頻繁な控え選手はその限りではない。

⑥チーム内に感染者が出た場合はそれ以上に集団感染（クラスター５人）・感染拡大を起こさな

いことや誹謗中傷を絶対生み出してはならない。

⑦その他、今後の感染状況によっては、大会ガイドラインの記載事項や対策変更があることなど理解の上、指示に従うこと。

４　大会使用球

（公財）日本ハンドボール協会検定球（人工皮革）を使用する。

〈品番　モルテン　男子H3X4000　女子H2X4000　　ミカサ　男子HB3000　女子HB2000〉

　　　 偶数年度　　　　男子　　　　女子 男子　　　　女子 　　　 第１日目・・・ミカサ　　　モルテン　　　　 　準々決勝・・・モルテン　 ミカサ

　　　 第２日目・・・モルテン　　ミカサ　　　　　　 準 決 勝・・・ミカサ　　　モルテン

　　　 第３日目・・・ミカサ　　　モルテン　　　　 　決　 勝・・・モルテン　　ミカサ

５　競技会場

　　（男子三重県）・サオリーナメイン　　Ａ．Ｂ　　　　　　　４０ｍ×２０ｍ（２面）

・サオリーナサブアリーナ　Ｃ　　　　　　　４０ｍ×２０ｍ（１面）

（女子岐阜県）・岐阜メモリアルセンター　で愛ドーム　　　４０ｍ×２０ｍ（１面）

・岐阜メモリアルセンター　ふれ愛ドーム 　４０ｍ×２０ｍ（１面）

ただし，１日目、２日目の「で愛ドーム」は　３８ｍ×２０ｍ（２面）

６　参加資格について

　　①代表者会議で決定したチーム役員・選手のみが競技に参加できる。

　　②ベンチは、役員４名（監督１名・役員３名とし引率責任者を含む、また生徒役員は２名までとする）および選手１６名の計２０名以内とする。ただし、臨時トレーナー（要資格）を届け出により追加で認める。役員・選手は、令和４年度に（公財）日本ハンドボール協会に登録され（区分は、高校）大会申込書及びプログラムに記載された者であること。また、チーム役員４名は必ず指定の役員カ－ド（Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ）を身につけること。

　　③公式記録用紙に記載されている者だけが、交代地域に入ることが許される。チーム責任者は、試合開始10分前にチーム役員および選手の氏名と背番号が正しく記載されているかを確認し、公式記録用紙にサインする。

　　④選手・役員は試合前のユニフォーム確認時に登録証（区分は、高校）をＭＯ・ＴＤに一括提出し、さらに試合直前に審判員から本人の確認を受ける。

７　トス・ユニフォームについて

　　①ユニフォームの確認は、第一試合は開始時間３０分前、第二試合以降は前の試合の前半終了直後に、各コート記録席前で行う。本大会に登録した**全ての**ユニフォームと選手証を持参すること。

 ②ユニフォーム等の着替えは、**必ず指定された更衣室等を利用すること。（マスク着用で速やかに更衣する）**

８　裁定委員会、上告委員会

 ①本大会に裁定委員会（競技委員長・競技副委員長・審判長・総務委員長）、上告委員会(大会委

員長・大会副委員長・総務委員長、大会委員長が指名した委員）を置く。なお必要に応じて関

係者を同席させる。異議申し立てについては、「競技運営に関する事項４－⑧」を参照。

９　その他

① 本大会は、１・２回戦まではＴＯ２名、3回戦よりＴＯ３名でオフィシャル管理する。

② ２足制の厳守について

体育館シューズ、屋外シューズを区別し、内外兼用は禁止する。守られない場合は別途指導する。

③ 松ヤニ等の使用について

全ての競技会場で両面テープの使用を認める。 松ヤニ・松ヤニスプレーは使用禁止とする。

④ 大会期間中は手洗い・うがいや手指消毒をこまめに行うこと。

⑤ 本大会にはコロナ感染症対策委員会を設置する。委員は大会委員長、大会副委員長、競技委員長、競技副委員長、総務委員長、総務副委員長、審判長とし、本大会における感染症対策や感染者対策などすべての事項についての窓口となり対策を協議する。重要な判断については日本協会と協議し決定する。